



平成29年10月26日

第50号

さくほ

2017 9

議会だより



佐久穂小学校運動会
5年生 騎馬戦 9月16日

発行：佐久穂町議会
議長：小宮山 雅則
編集：議会広報編集調査特別委員会
印刷：尚東城印刷佐久穂営業所
384-0697
長野県南佐久郡佐久穂町大字高野町 569
TEL：0267-86-2556

〔9月定例会発委〕

議会改革特別委員会設置 …… P3
国に求める「北朝鮮に強く抗議を」… P3

〔平成28年度決算〕

子どもにもわかりやすいさくほのお金 … P4・5

〔一般質問 10名〕

信州デスティネーションキャンペーンの効果は
不測の事態の危機管理対応は など … P6～10

28年度10会計決算を認定

総額 121億8662万円余

平成29年9月定例会は、9月6日から20日までの15日間で開催されました。

町長は招集あいさつの中で北朝鮮のミサイル発射による、Jアラートの情報伝達について。

東日本大震災で、岩手県釜石市の小中学生3千人は全員無事だった。日頃の訓練がいかに大切であるか。

夏の成人式、101名が出席、実行委員を中心にまとまった式ができた。

信州DC、八千穂高原への客の入り込み状況について。

町とJA佐久浅間など10名で、花弁のトップセールスを行った。

子育て支援、給食費の町補助の予算計上について。

などを述べられました。つづいて上程された案件の説明が行われました。



審査報告をする奥水博代表監査委員

認定

代表監査委員より決算審査報告があり、28年度一般会計決算認定から、国民健康保険特別会計決算認定など、全10会計が委員会審査後、本会議で認定されました。

一般会計

収入決算額	84億5704万5千円
支出決算額	80億6788万1千円
翌年度繰越額	6714万円
剰余金	3億2202万5千円
(うち基金積立額)	1億6200万円

条例

- 保育の必要性の認定に関する条例の制定
- 保育所条例の一部を改正する条例の制定
- 地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例改正
- 町営水道条例の一部を改正する条例の制定

補正予算

- 一般会計 2億2470万8千円
臨時財政対策債などの確定による
- 住宅改修事業特別会計 ▲20万円
- 簡易水道事業特別会計 57万4千円
繰越金の確定による
- 農業集落排水事業特別会計 143万2千円
繰越金等の確定による
- 老人保健施設特別会計 69万4千円
繰越金の確定による

● 後期高齢者医療特別会計 105万9千円
広域連合負担金増など

契約

● 子どもセンター(仮称)施設改修工事の請負契約の締結について
畑八開発株 8856万円
【賛否一覽表参照】

人事

● 教育委員会委員
山口秀俊氏 任期32年5月7日まで

陳情

● 「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情
【賛否一覽表参照】

意見書

● 「全国森林環境税」に関する意見書の提出について
【賛否一覽表参照】

● 道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律による補助率等の高上げ措置の継続に関する意見書の提出について

7月臨時会

農業委員会委員の任命について16名の委員を同意しました。

議会改革特別委員会 設置

平成二十八年十二月議会において、議員定数削減の発議が出され、賛成少数で否決されました。審議が十分でなかったためと思われます。今年四月の議会選挙により、新たな議会が発足し、あらためて議会改革の必要性を問いました。九月議会で、議会改革特別委員会設置の発議があり、全会一致で可決されました。倉澤治貴 議会運営委員長を長として、全員で取り組み

ます。
○定数、報酬 ○夜間・休日議会 ○模擬議会（こども、女性）
○タブレット議会 ○アンケート調査 ○意見交換会等多くの事を検討していきます。
町民にわかりやすい議会、より開かれた議会、信頼される議会をめざし、さらなる議会改革の方策を検討するために、議会改革特別委員会を設置します。

国に求める!! 「北朝鮮に強く抗議を」

平成二十九年八月二十九日に続き、九月十五日にも北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、日本の領土領空上を通過、太平洋上に落下しました。日本国民の安全を脅かす行為であり、断じて許されるものではありません。国連の安全保障理事会においても北朝鮮に対する経済制裁が満場一致で可決され、平和的解決への初動を歩み始めた矢先の弾道ミサイルの発射に対して、断固として非難します。私たち市町村といった自治体

が、住民のための幸福を議論し実現するためには、国家として安全が担保されてこそあります。国防に関しては国家に要望するしかありません。
日本に対して挑発行為を行う国家として北朝鮮が存在する以上、国民の安全を保障する必要性において、その実現に対する確実な対応を、政府に対して強く求めます。
以上の意見書を国に提出しました。

総括質疑

高見澤 春野

佐久穂町営水道の条例の一部を改正する条例の制定について

問 料金改定の根拠は？条文のくわしい説明を。

答 北部水道組合の水道施設更新の財源確保するためです。20年間の長期計画となっています。条文は、改正時期が29年10月1日と30年4月1日の二とおりあるため、加入分担金、手数料、水道料金の算出方法が異なることを示しました。



平成29年第7回定例会 賛否一覽

※これ以外の案件等は、全会一致で可決しました。

議案等番号 議案等略名	議員名	西部元和	島崎規子	須田良子	石井正行	出浦修身	井出正臣	高橋康徳	高見澤研二	佐々木正雄	倉澤陽一	倉澤治貴	岡部勝一	高見澤春野	議決結果
議案第60号 平成29年度佐久穂町こどもセンター(仮称)創設に伴う施設改修工事の請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	■	○	○	○	欠	○	可決
陳情第5号 「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について		○	■	○	○	■	○	○	○	○	○	○	欠	○	採択
発議第6号 「全国森林環境税」の創設に関する意見書の提出について		○	■	○	○	■	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決

※「○」は賛成、「■」は反対、「欠」は欠席 議長(小宮山雅則)は採決に加わりません。

平成28年度決算の詳細につきましては
広報さくほ 10月号 P4,5 又は佐久穂町ホームページ
(<http://www.town.sakuho.nagano.jp>)をご覧ください。



QRコードを
使うには？

App Store か google
playからQRコードリー
ダーをダウンロードし
そのアプリでコードを
撮って！



気になる佐久穂町の

借金と貯金

(一般会計) 平成28年10月現在

借金 町債
66億360万円

貯金 基金
78億5846万円

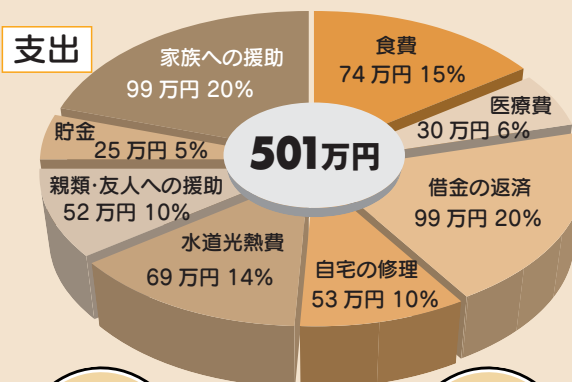
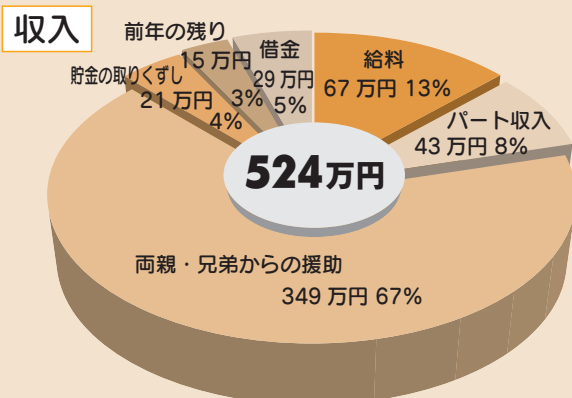
(町民1人あたり)
約57万7000円

(町民1人あたり)
約68万7000円

10月現在
町民1万1434人で計算



平成27年度の収入が500万円の家庭の場合
平成28年度の収入支出を
グラフで見えてみると？



借金残高
409万円

貯金残高
476万円

(平成28年決算時)

専用のさいふ

特別会計



**会社員ではない人の
健康保険用さいふ**

① 15億8200万円
② 15億7880万円



介護保険用のさいふ

① 12億6616万
② 12億3451万



千曲病院専用のさいふ

① 18億5933万円
② 21億4514万円



老人施設専用のさいふ

① 4億4013万円
② 4億3644万円



他にも5つの専用さいふがあるのよ



しらかばちゃんが解説!

平成28年度
決算

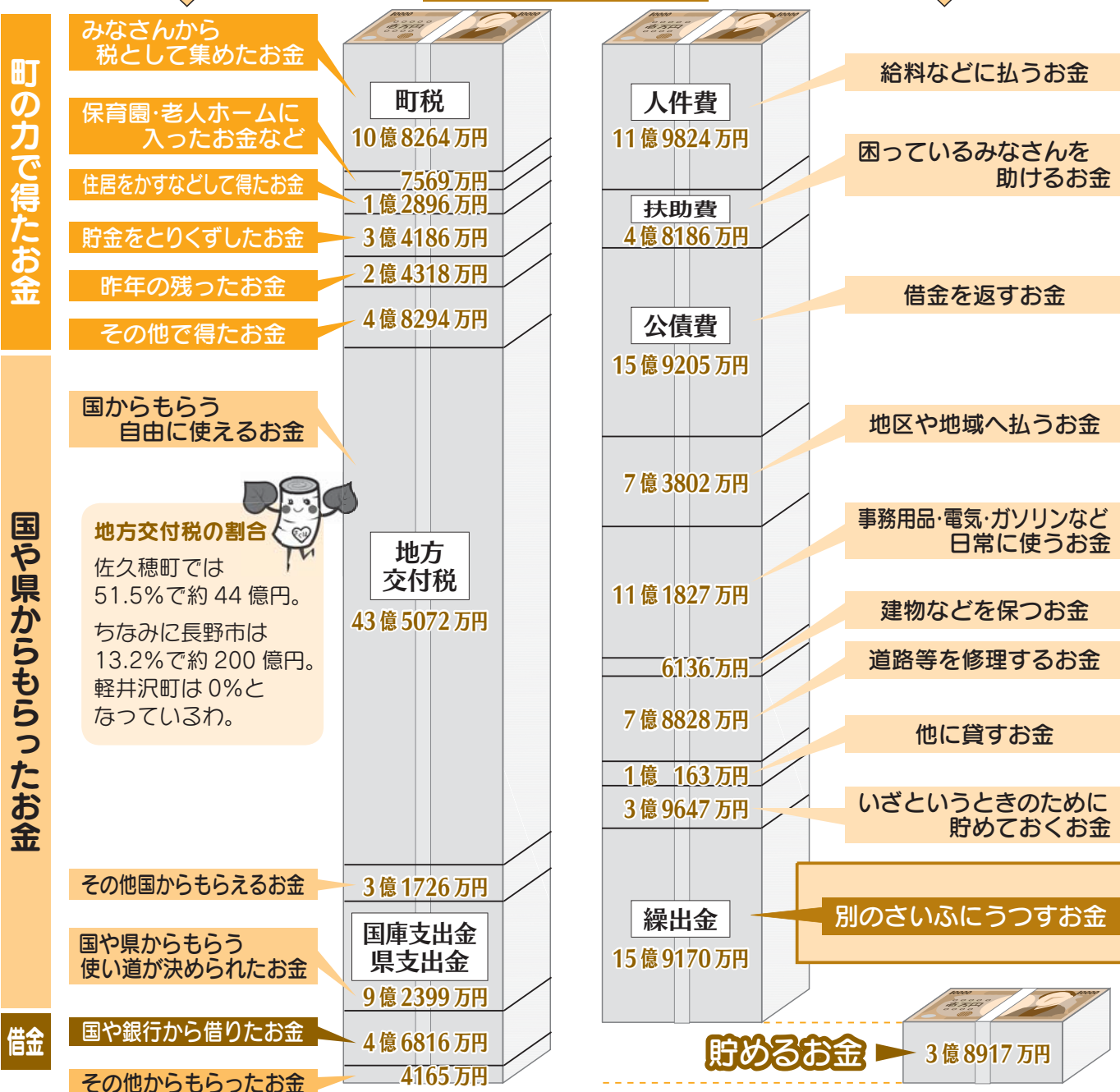
子どもにもわかりやすい

さくほのお金

入ってきたお金
84億5705万円

ふつうの
さいふ
一般会計

使ったお金
80億6788万円



高速道路開通をチャンスとする

施策をどう進めるか

町長 「道の駅」建設に向けて具体的検討を進めています

出 浦 修 身



問 中部横断道開通をチャンスとする土地や建物の活用は。

町長 インター周辺の半径三百メートル以内の特定用途制限区域の設定以外は考えていません。住宅用地は雁明・城山団地の販売残がネックだが、安価で提供できれば検討します。

提案(出浦) 雁明では町単独や住宅会社と提携して、「建売住宅」での販売を提案します。

問 八千穂高原インター周辺への「道の駅」又は「道の駅」建設は。

町長 「道の駅」建設に向け国交省と協議しています。特色ある「道の駅」づくりの検討を進めています。

問 高速道路開通を活かす来年以降の観光地「八千穂高原」への誘客をどう進めますか。

町長 営業の他、さまざまな媒体を使って北八ヶ岳・八千穂高原のアクセス改善をPRします。

産業振興課長 具体的にはフリーペーパーやアウトドア関連雑誌への観光情報の

掲載、FM佐久平やFM軽井沢での宣伝、スポーツ店や各種団体への営業活動を行うていきます。

提案(出浦) 関越・上信越・中部横断道と高速道路網を活かす、千葉・東京・埼玉の駅やスポーツ店・各種団体への営業強化を提案します。

スキー場運営方針転換後の観光の進め方は？

問 スキー場譲渡作業の現況は。

町長 M&A企業等と譲渡について相談中で資料作りの段階です。

問 交渉開始のめどは。

産業振興課長 十月中には始めたい。

問 新たな観光施策を研究調査する組織の立ち上げは。

町長 準備段階として町内観光関係者のヒアリングを実施中です。

意見(出浦) 観光開発は五年十年と時間が掛かるので、早急に立上げしつかり研究頂きたい。

問 町の観光開発を地域再生法に基づく補助金を得ての計画は。

総合政策課長 地域再生法の補助金は、ソフト事業が中心で難しいが、佐久広域での計画では検討したい。

問 集落点検の現況と課題は。

町長 町と住民で「安心して住み続ける地域づくり」を見出して行きたい。

情報媒体として

ケーブルテレビ導入の考えは

町長 ブロードバンドと無線、デジタル

防災無線という方向で

倉 澤 治 貴



行政及び住民活動の情報共有について

問 進化しつづける情報化社会において、情報媒体は多様化し、複雑化している。迅速かつ正確な情報は住民の安全、安心を担保し、共有化により住民の絆を深めるなど情報の重要性が増している。高齢者世帯にも情報が伝わり易く、学校行事や地域活動、議会の様子などが映像で見られるケーブルテレビネットワークを活用した情報伝達の考えは。

町長 ケーブルテレビ業務はテレビ放送の難視聴対策が大きな理由の一つ放送器機のデジタル化、顧客管理、取材、編集、放送など財政面や人的負担が増大し、行革路線に反します。効率的な情報伝達には今後も検討を進めていくが、当面は現状の方法を改善する方向で進めていきます。

空き家及び遊休農地対策の現状について

問 空き家及び遊休農地対策の成果と現状は。また活発な動きが見られないとすれば、今後の方向性は。

町長 空き家バンクの登録は6件、空き家対策事業補助金は2件交付決定しました。遊休農地対策については新規就農者の支援、技術指導、産地宣伝を行っているが成果は上がっていません。今後も生産者、JA、農業改良普及センターなどと連携して取組んでいきます。

総合政策課長 解体に関する問合せは多いが条件により対象外となるケースが多い、一年間様子を見て再検討したい。

問 宅地にかかる固定資産税が解体のさまたげになっているのでは。

住民税務課長 総合的に鑑み、また所有者の考え方もあるので損得、高い安いというのは差し控えたい。

問 農地バンクのようなものはつくれないか。

町長 農業法人とかJAに是非やつてもらいたい。

小中一貫の英語教諭乗り入れを

教育長

小・中学校で

検討していただいています

西部 元和



問 小学校英語の現状は。

教育長 9年生で英語のプレゼンテーションができる生徒の育成を目指しています。また、実態に合わせて毎年カリキュラムの見直しをしています。

時間数は、1年生から4年生までは年間35時間、5・6年生が年間40時間、英語開発会社A to Zとタイアップして、レシビ方式で授業を進めております。

問 実施3年間で見えた課題点は。

教育長 中学の読む・書くことにどのように接続していったらいいか。また新学習指導要領の5・6年生の授業時間が70時間となり、カリキュラムについても検討中です。

また、家庭用CDですが、家庭で一緒に英語の力が伸びるようにしゃべってもらえれば一番いいなと思っています。今では以前より、英語がうんと身近になっているのではないかと考えています。

問 社会・理科・体育・数学などで教諭

の相互乗り入れが行われているが、英語はどうか。

教育長 英語の乗り入れはありません。

問 今後、英語教諭の乗り入れを考えているか。

教育長 考えていかなければならないとは思っております。小・中学校の検討の結果に左右されるかなと思います。

問 東京オリンピック・パラリンピックを英語教育・国際化教育の機会にする予定はあるか。

教育長 大変有効であると考えております。が、まだ具体的な考えは今のところありません。

英語を通してコミュニケーション力を高めるといことから、このような機会というのは大変重要で望ましい活動だと思っております。今後このような国際イベントに限らず、英語教育をいかにすることについては前向きに検討していきたいと思っています。

最後に「さすが小中一貫校の英語教育だ」と全国から注目されるところを目指してほしいと思います。

起業に対して町独自の

支援策を考えてはどうか

町長

商工会と連携し制度を

つくることを考えています

高見澤 春野



地域活性化施策

問 企業誘致条例等制定後の成果と課題は。

町長 比較的大規模企業対象の支援のため、空き店舗対策事業1件です。

支援内容、条件は近隣市町村同等かそれ以上なので具体的見直しは考えていません。

問 起業に対する町独自の支援を考えてはどうか。

町長 商工会と連携し創業者、創業支援者を支援する制度をつくることを考えています。

健康長寿・健康づくりの取り組み

問 チャレンジデー参加継続の考えは。

町長 数年間にわたり定期的イベントを

開催することで、運動習慣を確かなものにしていきたいと考えています。

問 ラジオ体操を毎日無線で流しては。

町長 現行の法規上は難しいです。地域、職場でラジオ体操のCDの希望があれば予算の範囲内で対応します。

問 反省会(チャレンジデー)での意見をどう活かすか。

町長 貴重な意見は次年度に向け、課題を整理し、改善して取り組むことが確認されました。

子育て支援策

問 子育て支援基金(仮称)の総額と財源は。

町長 来年度創設で考えています。原資は財政調整基金に求めます。

町長 出生祝い金、給食費軽減、成長祝い金(創設予定)は今後10年間で約2億600万円と推計しています。

げんでる号の佐久病院への

運行調査状況は

総合政策課長

近くアンケートをとります

須田 良子



交通弱者対策について

問 げんでる号の佐久病院本院、分院への運行要望等、調査状況は。

総合政策課長 調査していきたいと考えます。調査対象者を特定し、アンケート内容作成、実施には予算化が必要です。

問 今のげんでる号の運行は、とても便利であり好評です。是非佐久病院まで運行できる体制を御検討下さい。どうすれば運行可能となりますか。

総合政策課長 許可は手続的には不可能ではありません。コストや他の交通手段の阻害にならない、バランスを考えた対応が必要です。それ程遠くない頃にアンケートを取っていききたいと思います。

問 佐久穂町地域公共交通会議の討議内容と、今後について。

総合政策課長 げんでる号運行開始時と、

市町村運営有償運送業務の廃止時に協議しました。今後はデマンド交通等に関して運行形態の変更、料金改定など、何らかの合意形成が必要になった場合開催します。

問 利用料について、げんでる号は公共交通機関です。通院、買い物、スポーツ・文化活動に積極的に参加し、高齢者がいつまでも元気にいられ、また、地域活性化のためにも値下げすべきではないか。

町長 利用料自体を運行当初と同額で維持することは難しい状況もありました。消費税増税、またサービスの拡充に至った場合、行政や商工会、タクシ事業者、げんでる号利用者のそれぞれの応分の負担について検討していくことになります。

問 高齢者運転免許証返納に対する具体的対策は。

町長 他市町村の例も参考に、特典の種類、金額や回数等支援制度に対する補助要綱の原案を考えています。また、予算措置も検討していきます。

町内業者育成のための産業支援を

町長

循環型のような仕組みを

考えた方が良くと考えます

井出 正臣



町内産業の育成

問 企業の人材育成支援を踏まえた1次産業から3次産業までの産業育成に対して、どのような支援の方向性を考えているか。

町長 1次産業については個別支援策がありますが、2次、3次産業については充実しているものではありません。8月より商工会と定例連絡会議を毎月開催し、支援策等について検討しているところで

問 公用車の整備や民間住宅建設など、町の仕事は町内業者で受注ができるよう町内第一主義的な支援はできないか。

町長 町内で閉鎖的にサイクルできる循環型のような仕組みは作っていった方が良くと考えています。

公共施設全般のあり方

問 公共施設等整備計画が示されたが、所管各課に散在する公共施設をどのように監理していくのか。

町長 横断的な取組体制の構築が必要と思われま。統括管理部門は未定ですが、管財部門を持つ総務課が適当と考えています。

問 施設利用は各課の使用判断に委ねられている部分が大いと思われるが、新庁舎建設や道の駅建設を考慮すれば、目標値以上の達成が必要。トップダウンによる厳しい監理が必要ではないか。

町長 最終的にはトップダウンをしなければならぬと思います。これからはそれに心掛けていきます。

工事等の設計価格

問 工事発注における積算価格に間違いがあったと思われる場合の対応は。

建設課長 疑義が生じた場合の申し立て制度を今後検討していきたいと考えています。

緊急情報の配信手段は万全か

町長 エリアメール等の利用も

考えてまいります

島崎 規子



屋外防災無線について

問 緊急情報等の発信は現在の屋内外防災無線放送でカバーしきれているか。

町長 防災無線更新時、聞こえづらい箇所については全ての区長さんに確認していただき、屋外子局の増設を4ヶ所、スピーカーを指向性の高いものに変更しております。

総務課長 集落の家の外にいる方々には情報が聞こえるように設計されていますが、改善できるところは改善していきたいと思っています。

問 防災無線以外で屋外にいる方々に情報をお伝えする方法はあるのか。

総務課長 現在運用しているのが、佐久穂町に登録しておいていただくと消防団の方々は火災があると団員個人の携帯にメールが送れます。これは一般の方でも情報登録していただくと避難勧告等の情報が発信されるシステムがあります。ま

た携帯電話会社のシステムを使って情報を発信する手段も今後運用を考えていきたいと思っています。

ラジオ体操の定時放送について

問 5月のチャレンジデーの時には、毎日午後3時に防災無線で「ラジオ体操」を放送しました。町民の皆さんに大好評であり運動習慣定着のためにも継続可能か。

町長 現在の法規上では非常に難しい状況となっています。今回は住民の皆さんへのきつかけづくりとして放送しました。健康管理はまず自分からということ、地域や職場においてラジオ体操のCDを希望される場合は、予算の範囲内で対応させて頂きますので健康福祉課に御相談下さい。

健康福祉課長 課の健康運動指導士とも相談しながら、長野県が展開するACEプロジェクト（健康づくりの県民運動の名前）食育と検診、そして運動の3点をバランス良く展開して行きたいと思っています。

「臨時職員に係る包括業務委託」を行う根拠は何か？

町長

国の「経済財政運営と改革の基本方針2015」等に基づき実施していきます



高見澤 研二

問 国が進める「地方行政サービス改革推進」による助言通知を受け、佐久穂町としての政策決定や事業を進める根拠となるまとまった計画はあるのでしょうか。

また、8月に臨時職員に係る業務等を包括的に委託できる事業者を選択する目的で、「包括業務委託、公募型プロポーザル」が実施されたが、唐突な印象を受けた。この政策決定に至った経緯と、今後の方針を定めた計画はあるのでしょうか。

町長 地方行政サービス改革の取り組みは国からの助言通知とはいえ、ほぼ義務的に実施しなければならない状況です。改めて総括的計画はつくることなく進め、該当する課等が対応を始めています。

次に、民間委託の計画は町独自ではなく、国の「経済財政運営と改革の基本方針」に基づき実施しています。

昨年6月ころから検討に入り町の行政改革推進本部での議論を経て、現状の臨時職員の雇用を守る民間委託の方策として「包括委託」が提案され決定されました。今後は、臨時職すべてを包括委託するのではなく、従来通りの直接臨時雇用とを組み合わせる合理的に運用していく考えです。

問 昨年度の「ふるさと納税寄付金」の収入総額は、383万6千円です。この収入から返礼品などの経費を差し引くと実質いくらの増収になるのか。また、今後どのような方向で取り組むのか、信濃毎日新聞8月11日の社説では、「むしろ地方から制度廃止の声を上げ、財源移譲を求めるべきだ」とある。いかがか。

町長 返礼品などの経費が約20%かかりますが黒字の決算となっています。

今後は、ふるさと納税本来の趣旨のとおり、頑張る佐久穂町を全国にアピールし、応援したいという納税者を増やしていきたいと考えます。

不測の事態の危機管理対応は

町長 迅速に対応できる体制を整備しています

石井 正行



危機管理について

問 自然災害や感染症など、不測の事態が発生した場合の政策や体制は。

町長 地域防災計画・新型インフルエンザ等対策行動計画・国民保護計画にて町長を中心とした対策本部を設置し、発生した災害等に迅速に対応できる体制を整備しています。

問 庁舎が災害に遭うなどの理由で使えない場合、どこに対策本部を設けるか。

町長 代替え施設としている八千穂庁舎、生涯学習館茂来館には、共に非常用発電設備がなく、大規模な停電では本部の設置が困難な状態です。代替え施設となる建物の設備等について整備を進めることとしたところです。

問 避難の手助けが必要な方をどのように把握し、どのように避難させるか。

町長 避難する時に手助けが必要な方を避難行動要支援者とし、防災担当部局と福祉担当部局が連携し、把握に努めることとしています。誰がどのように避難させるかといったことは、まだ決められていない状況です。

問 庁内の危機管理対応は。(盗難、情報の損失・流失、契約書の管理体制)

町長 盗難は、佐久庁舎は日当直者、八千穂庁舎はセキュリティシステムにて対応しています。情報システムはIDとパスワードで管理され、問題があった場合解明できるようにしています。契約関係の保存期間は二年と定めており、重要な案件の契約書は各所管課において永年保管、管理されています。

まちの駅・農産物直売所の今後について

問 まちの駅についてどの様に対応するか、新たな場所での施設整備の考えは。

町長 現在、直売所について何か対処を考えているものではありません。ご意見等を伺いながら今後について考えてまいりたいと思います。

信州デスティネーションキャンペーンの効果は？

町長

白駒の池、苔の森を中心に
多くの来町者があります

高橋 康徳



観光施策について

問 信州デスティネーションキャンペーンに伴う観光客数、シャトルバスの利用状況はどうか？

産業振興課長 白駒池駐車場の利用状況では対前年170%以上の伸びを示しています。

観光客数についても、4月から8月末までに10万5653人となり、前年比176%となっています。

問 多くの観光客が来町しているようだが経済効果はあるのか？

町長 観光協会でパンフレットを作成する等の対策事業を行ったが、多くの利用を頂いた事業場もあれば、数件の利用に留まっているところもあり、キャンペーン終了後に検証したい。

の効果は？

問 シャトルバスは、来年度も運行するのか？

産業振興課長 本年の信州DC対策ということで計画したもので、継続予定はありません。

問 駐車場を増やせば、直接収入が増加することになると思うが。

町長 国定公園の特別保護区に近い。町としても大切にしたい場所であり駐車場を広げることは、考えておりません。

学校跡地について

問 売却が白紙に戻った八千穂小学校はどうするのか？

町長 公募をあきらめたわけではないが県や金融機関等からの情報を基に売却に向けた営業をしていきたい。

問 文化財の一部を八千穂中学校へ移動するが、資料館とするのか？

町長 資料館とは考えていません。

視察研修特別委員会

常任委員会 合同視察研修報告

本年度の議会常任委員会合同視察研修は7月13日(木)・14日(金)の2日間、「議会改革、ふるさとづくり、まちおこし」等をテーマに、岐阜県坂祝町、愛知県大口町、静岡県森町での視察を行いました。

さかほぎちょう

■ 岐阜県坂祝町 ■

坂祝町はタブレット端末導入や休日議会の導入試行など先進的に議会改革に取り組んでいます。

→ **タブレット端末導入**では情報の共有やスケジュール伝達の迅速化などメリットもあります。予算や決算の審議では使いにくい様です。視察にきた他町村での、タブレット導入はあまりおこなわれていないようです。

休日議会の開催は、町への負担が多いわりに効果が少なかったことから、現在は実施していないとのことでした。



坂祝町議会の皆さんと共に

おおぐちちょう

■ 愛知県大口町 ■

大口町は「協働のまちづくり」を積極的に推進する先進地です。

→ 平成11年の情報公開条例を手始めに「**参加と参画のまちづくり**」を推進し、平成21年には「**まちづくり基本条例**」を制定し「協働のまちづくり」を推進しています。近年は**地域のお祭りや環境整備事業**を「**協働委託事業**」とし、町からNPO等の各種団体に委託し「協働のまちづくり」を進めています。

■ 静岡県森町 ■

森町は高齢者保健福祉事業や産業・観光振興に力を入れています。

→ 森町の高齢者福祉関係事業について説明を受けました。特徴的なのは地域包括支援センターが高齢者福祉事業のほか、介護予防・生活支援事業など幅広く保健・福祉事業に携わっていたことです。午後からは**体験型観光施設「アクティー森」**を見学しました。

森町は保健福祉行政の他、観光振興、お茶やトウモロコシの生産など農業振興にも注力している事が伺えました。

三つの町では、熱心にご説明・ご案内を頂きました。誠にありがとうございました。紙面を通じ御礼申し上げます。

佐久地域問題研修会

実施期日：8月22日(火) 場所：川上村 川上文化センター

主催：南佐久郡町村会

講師：信州大学 濱田学長

演題：「信州大学の概要と取り組みについて」



信州大学は、昭和24年に長野県下の7つの高等教育機関（学校）が合併し誕生しました。また、信州大学は、大学地域貢献度で4年連続日本一となっています。

県内自治体や民間企業等と締結した連携協定も46を数え、近隣では佐久市、軽井沢町、川上村、南牧村が結んでいます。更に「信州大学ものづくり振興会」などの各種産学連携組織に参加する企業・会員数は、600以上にのぼり、大学が地域と共同研究や課題研究に貢献していることが伺えます。

この他、年間1100件以上の公開講座や出前講座を実施しており、町でも林業戦略の策定につき業務支援の委託を進めています。

委員会活動から

委員会審査

総務文教常任委員会

平成 28 年度一般会計歳入歳出決算など認定 4 件、平成 29 年度一般会計補正予算の専決処分の承認 1 件、佐久穂町保育の必要性の認定に関する条例の制定についてなど議案 6 件が付託され、全付託案件を原案どおり可決しました。

平成 28 年度一般会計決算

歳入決算額は 84 億 5704 万 5 千円、歳出決算額は 80 億 6788 万 1 千円、翌年度繰越額 6714 万円であり、差し引いた実質収支額は 3 億 2202 万 5 千円の余剰が生じ、基金に 1 億 6200 万円を積み立てました。

町税は 12 億 499 万 4 千円の調定額に対し、収入済額は 10 億 8264 万円です。平成 27 年度と比較すると、調停額で 2336 万 3 千円、収入済額で 3906 万円の増額です。収入未済額は 1 億 969 万 8 千円で 599 万 2 千円の減額となりました。公債費の歳出決算額は 15 億 9205 万 5 千円、昨年度比 6617 万 5 千円の減額です。

- 街灯LED化事業 …………… 883万8千円
- 生活の足確保事業 …………… 2144万7千円
げんでる号年間延べ利用者数 22,286 人
- 戸籍コンピュータ化業務委託事業 … 1177万8千円
- 放課後児童健全育成事業(学童クラブ) … 1409万9千円
年間延べ利用者数 14,837 人
- 小中一貫教育推進教員配置事業 …… 2322万5千円
小 5 からの一部教科担任制実施 6 名を配置



児童館

平成 28 年度特別会計決算

国民健康保険特別会計歳入総額 15 億 8199 万 5 千円、歳出総額 15 億 7879 万 8 千円、差引残高 319 万 7 千円。保険加入者は 28 年度末 3,034 人で 189 人の減少となっています。収入未済額は 5685 万 9 千円で、前年度比 29 万円の増加です。

条例の制定・一部改正

- 佐久穂町保育の必要性の認定に関する条例の制定（保育標準時間は、1か月当たり平均275時間までなど）
- 町営水道条例一部改正（宿岩簡易水道について、加入分担金、水道料金、手数料等の額の改正、値上げ）



栄保育園

平成 29 年度一般会計補正予算

補正額 2 億 2470 万 8 千円増額し、予算総額 79 億 6393 万 9 千円です。前年度決算や交付税の確定に伴う補正が主で、歳入の地方交付税を 1 億 6819 万 5 千円増額、町債 3204 万 8 千円です。

経済福祉常任委員会

担当する産業振興課、建設課、健康福祉課所管の、平成 28 年度一般会計歳入歳出決算、平成 29 年度一般会計、特別会計補正予算案件など計 14 件を審議の結果、全件を原案通り承認・可決致しました。この報告では、担当各課の執行項目で対前年度比の増減が多かった項目につき総額と増減額を表示します。

平成 28 年度一般会計 歳入歳出決算

【産業振興課】

- 農業振興費：7555 万円 対前年度比－7475 万円
大幅減の要因は前年度の雪害補助及び交付金の減少。
- 林業振興費：3469 万円 対前年度比－4196 万円
国庫補助の更新伐事業減が主因です。

【建設課】

- 道路橋梁費：4 億 4693 万円 前年度比＋1 億 1649 万円で、主な増加要因は高速道路推進費の＋7888 万円及び橋梁長寿命化改良費の＋6715 万円です。

【健康福祉課】

- 社会福祉費：1 億 9125 千円で、対前年度比 2 億 2398 万円の増加。
高齢者への臨時福祉給付金で4272万円の増加や佐久総合病院の整備負担金1億7960万円によるものです。



長寿命化工事後の八十嶺橋

平成 28 年度 佐久穂町索道事業特別会計歳入歳出決算（スキー場事業の会計）

歳入・歳出決算額：1億7106万円
借入金を除く実質収入額：6274万円
公債費を除く実質支出額：1億995万円
実質赤字は4721万円でした。

産業振興課では、3月平日の第4リフト停止や新電力との契約など経営努力をし、実質赤字額は前年度より約1400万円減少しましたが、相変わらず高水準の赤字が続きました。



子どもスキー教室（八千穂高原スキー場）

平成 29 年度一般会計 補正予算

総額 2 億 2471 万円の収支補正額だが、前年度決算に伴う繰越金処理等が中心でした。
経済福祉常任委員会付託の補正案件では、社会福祉費 2614 万円、土木費 1566 万円が増額補正となりました。

広報編集調査特別委員会

おかげ様で
「議会だより」も 50 号



広報編集調査特別委員会では、9 月 29 日に東京で行われた「平成 29 年度町村議会広報研修会」に倉澤陽一委員長はじめ全委員が参加して来ました。

「伝える広報」から「伝わる広報」のつくり方などの講習を受け、「議会だより」の編集でも、できるだけ反映する様に努力していきます。

お詫び

前号 12 頁、須田良子議員の見出しで佐久穂病院を佐久病院に訂正してお詫び申し上げます。

次回 12 月定例会は

12月7日(木)～19日(火)を予定しております

皆様の傍聴をお持ちしております

追跡

一般質問

そのあと、どうなったの!?

どんな こどもセンターになるの?

工事のあらまし

- 工事施工者：畑八開発株式会社
- 工事金額：8856 万円
(工事費用のうち半分は国からの交付金、残りは起債で賄います)
- 工事期間：平成 29 年 9 月 6 日～平成 30 年 2 月 28 日
- 主な施設：プレイルーム、健診室、飲食ルーム等

こどもセンター (仮称)の整備

「こどもセンター」の整備は、本年一月の臨時議会に上程され、地方創生拠点整備として整備が決定しました。

九月定例議会では、旧佐久中央小学校を改修し「こどもセンター」創設の工事契約が議決され、いよいよ工事開始の運びとなりました。



現在の工事の様子

どんなことができるの?

- こどもセンターは未就園児や子どもたちがお母さん達とふれあい、リフレッシュできる、町の子ども・子育て支援の中心的拠点です。
- ◇ プレイルーム…子ども達が自由に遊び、母親・父親が見守りながら情報交換できる空間です。
- ◇ 健診室………診察室や相談室、授乳室をそなえ、落ち着いて乳児検診などの診察や相談ができる場所です。
- ◇ 講座室………ゆっくりと講座や会議を開くことができます。
- ◇ その他………飲食スペースや親子トイレがあります。

センターの利用は?

- ◎ プレイルームはもちろん、その他の部屋も子育て中の方や「子育てサークル」が無料で利用できます。
- ◎ 既存の児童館、学童クラブと一体となった施設です。子育てランド、あそびの広場なども開催します。
- ◎ 来年4月にはオープンの予定です。



プレイルーム完成予測図

行事いっぱい 夢いっぱい やさしさいっぱい さくほまち

議会議員も心をやさしさに満たしてもらいました

●9月16日
小学校運動会



天にむかって！赤勝て 白勝て！

●9月21日
秋の交通安全人波作戦



安全第一！命が大事！家族が大事！

●9月22・23日
樺松祭



生徒の力 佐久穂の未来

(写真)
地域と文化と
樺松祭



広い背中につけて！(海瀬)

●9月30日
佐久穂3保育園
運動会



引け！引け！みんなの力で(栄)



息をおわせて旗ふり！(八千穂)

白駒の池の苔の森 透き通る美しさ

人気度全国2位にランクイン!!
(2017.6.17 付 日経紙&電子版)

がんばる
さくほの
千ヨ一民



北八ヶ岳苔の会

会長 山浦 清 さん^⑤

事務局 遠藤隆也 さん^⑤

先生(樋口先生)来てビックリよ。だって僕(山浦)ひとりだったんだもの。でもそれがきっかけで、日本蘚苔類学会により「貴重な苔の森」(※注)に認定されることになったので、この場所の苔を守ろうということになったんです。

■その観察会はどうだったんですか。

先生(樋口先生)来てビックリよ。だって僕(山浦)ひとりだったんだもの。でもそれがきっかけで、日本蘚苔類学会により「貴重な苔の森」(※注)に認定されることになったので、この場所の苔を守ろうということになったんです。

■活動の最初の一步は何だったんですか。

信州DCにより今までにない賑わいをみせた白駒の池。1960年代、白駒の池一帯の木を伐採する計画が持ち上がった時、村長をはじめ多くの村民が村(当時の八千穂村)を挙げて阻止をしたという過去があります。そして2008年に「日本の貴重な苔の森」に日本で7番目に認定され、現在にいたっています。この苔の森の環境を守ろうと、2010年に結成され、活動されている「北八ヶ岳苔の会」。信州DC招致の立役者である、会長山浦清さんと事務局遠藤隆也さんにお話を伺いました。

もめた事もあったんだけど、5年目に「日本蘚苔類学会北八ヶ岳大会」を佐久穂で開きたかったんで、そこまではやるって決めたし、それでこの学会を開催した事で、人が来るようになり、次の目標が、今回の信州DCを

■活動を始めて8年になります。が「もうやめよう!」と思うことはなかったんですか。

一年目でやめようと思って、もめた事もあったんだけど、5年目に「日本蘚苔類学会北八ヶ岳大会」を佐久穂で開きたかったんで、そこまではやるって決めたし、それでこの学会を開催した事で、人が来るようになり、次の目標が、今回の信州DCを

■2010年に「北八ヶ岳苔の会」を結成して、苔の保全活動へと発展していくんですね。



白駒の池の苔

この苔の森に呼ぶことになったんです。信州DCが決まり、JR東日本CM撮影が昨年10月にあったようですが、その時のエピソードがあったら教えてください。

■信州DCが決め、JR東日本CM撮影が昨年10月にあったようですが、その時のエピソードがあったら教えてください。

（山浦）2日間の撮影中に控室として利用していただいたり、その間のお弁当をご注文いただいたので、多少なりとも小百合さんに近づけて最高だったと思いますよ。

（遠藤）僕が青苔荘でいつも泊まる部屋があるんだけど、撮影の時はその部屋が小百合ちゃん（吉永小百合さん）の控室になったちゃっていて・・・（笑）

■信州DCも終わり、吉永小百合さん効果で白駒の池、苔の森の認知度も上がったと思います。来年はアフターDCになりますか、今後をどのように考えますか。

今回、中学社会科の公民「地方自治」の教材として使用できるような紙面を意識して作成してみました。さらに授業で資料として使ってもらおうと、9年生全員に配布する予定です。

今後とも町民のみなさまと、議会との距離が近くなるように工夫を重ねてまいります。世代を超えて議会だよりをネタにお話が盛り上がるにつれればと強く願っています。

新しい広報編集調査委員会になって2回目の発行となります。町民のみなさまに、わかりやすく親しみやすい広報を目指して作成していますが、その難しさに毎回、当惑しています。

◆編集後記◆

（※注）学者から見ると壊れやすく、守らなければいけない大変貴重な場所。学者は何もできないので地元の人たちに何とかしてほしいというメッセージ（2008年）